

# －根本 匠 福島県産米の出荷自粛問題に係る調査報告－

平成 24 年 10 月 15 日

- 9 月下旬 専門農家から全量全袋検査をしても出荷できないという意見を聞く。  
7 月以来、政府民主党、農林水産大臣に対して農業者の皆様はじめ多くの方々が要請、陳情を繰り返し、さらに上京して要望活動をおこなってきたにもかかわらず、出荷時期を迎えても、一向に「福島県産米の出荷自粛」の改善策が講じられない状況。
- 10 月 3 日 【 米の緊急モニタリング検査及び全量全袋検査に係る意見交換会 】  
根本匠が農水省、東北農政局の担当官を郡山に招き、関係者との意見交換会を実施  
( 農水省：穀物課長他  
東北農政局：統括管理官他、  
郡山：根本匠、遠藤敏郎市議、佐藤政喜市議、市農林部長他、JA 稲作部会長他 )
- 10 月 8 日 根本匠、宮腰光寛衆議院議員 緊急現地調査 (1 日目)  
根本匠と自民党の農政責任者宮腰光寛衆議院議員が現地調査。  
【 米の全量全袋検査視察 (郡山市) 】  
【 郡山市農業委員等との意見交換会 (大槻町、喜久田町) 】  
【 浅和定次大玉村長、斎藤道雄 JA みちのく安達組合長等との意見交換会 】
- 10 月 9 日 根本匠、宮腰光寛衆議院議員 緊急現地調査 (2 日目)  
【 米の全量全袋検査視察 (本宮市) 】  
【 高松義行本宮市長等との意見交換会 】
- 10 月 10 日 自由民主党農林部会 会議  
【 議題：福島県産米出荷の遅れ問題について 】  
※根本匠提言書「全量検査で安全を担保されている米は出荷を認めよ！」国へ要請。  
制度上の不合理なルール等問題点を指摘し、改善策を提起。
- 10 月 11 日 【 農水省、福島県関係市町村協議 】  
・地域の抽出検査 (全戸検査並みの検査) が終了していれば、23 年米で 50Bq/kg 超の農家について、生産管理計画に基づき、県の責任で当該農家が生産した米の全量を管理することを条件として、当該農家を除き、地域の出荷自粛は解除しても良いこととする。  
(当該農家についても全量全袋検査をすれば出荷できる。)  
・モニタリング検査のサンプル抽出について、モニタリングは県がリスト化してきたが、JA、商系を含めて個体データを積み上げるよう方法を変えるようにされたい。  
等の検査体制の見直しを措置。福島県が精力的に作業。
- 10 月 14 日 大玉村、出荷自粛解除。全量全袋検査済米を出荷。  
10 月 15 日 郡山市、出荷自粛解除。全量全袋検査済米を出荷。